

今日は総選挙投票日



今国政や地方政治に問われるものを考える

米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市会議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

今回、米原市においては選挙ドミノが起り、10月27日の総選挙、11月10日の市長選挙、県会議員補欠選挙、市議会議員補欠選挙が実施されます。27日の小選挙区の滋賀2区では自民党、維新、立憲民主の候補者の争いです。衆議院議員選挙は小選挙だけでなく政党名を書く比例代表選挙が今の国の政治を表すものとして重要です。また、11月10日の選挙での県政市政の重要課題を考えてみました。

比例投票は重要

日本共産党は今回の総選挙で前回の総選挙や参議院議員選挙での野党統一を求めています。立憲民主党代表の「安保法制をめぐり容認発言」や「日本共産党との選挙協力しない」との今までの関係を見直す発言により中央での協力関係は壊れました。しかし地方での関係は続いており、滋賀2区では2区市民の会が立憲民主党の候補者と政策協定を結んでいます。滋賀2区の会には日本共産党後援会の方も多く参加しており、比例選挙は日本共産党と訴えておられます。

1月の県議・市議補選

選挙ドミノが起り、いくつかの選挙が11月10日投票で行われます。まず11月1日告示で滋賀県議会選挙が行われます。また11月3日告示で市長選挙と市議会議員補欠選挙が実施されます。県議会補欠選挙は、米原市区の県議が、市長選立候補予定という事で辞任をされたため米原市区では補欠選挙が実施されることとなります。

市長選挙は市長が、国政に進出したため、10月13日付けで辞任されたため実施されるものです。

また市議補選は先の県議会議員選挙で市議が立候補し1議席空席となっていました。1議席の予定でしたが、今回県議補選に立候補予定ということで二人の市議員が辞任をし、3議席を争う事態となっています。

地方政治の課題は

国政の課題等については総選挙の中で鋭く問われています。裏金問題や旧統一協会との癒着問題など自民党政治が問題となっており、これらの問題は国民生活に大きな影響を与えていることも事実です。国の政治が地方に与える影響も大きいですが、地方政治には地方政治の課題があります。その課題について考えてみました。

県政の課題は

県政では国スポにみられるような大型公共事業優先の県政が行われています。その中で県民生活に直結する福祉や暮らし優先の事業が後景に押しやられて感があります。国保保険料の統一化で市民の国保負担が耐えられない状況が続いています。典型的な事例です。

国保統一化で負担増

県政では国スポにみられるような大型公共事業優先の県政が行われています。その中で県民生活に直結する福祉や暮らし優先の事業が後景に押しやられて感があります。国保保険料の統一化で市民の国保負担が耐えられない状況が続いています。典型的な事例です。

市政の課題は

市政の課題を考えて見たいです。まずは子育て支援です。将来の米原市を支えていく子ども達。こども達を産み育てる若い世代の人たちを、どう支えていくか、地方政治の最重要課題です。

子育て支援策

市政の課題を考えて見たいです。まずは子育て支援です。将来の米原市を支えていく子ども達。こども達を産み育てる若い世代の人たちを、どう支えていくか、地方政治の最重要課題です。

教育費負担の軽減を

また、教育負担の軽減も

重要課題です。米原市では「学校給食無償化を求める会」が署名をあつめ活動されています。

また高等教育の負担軽減も重要課題です。米原市では独自の給付型奨学金制度が設けられています。充実させる必要があります。

国保税・介護保険料の軽減

国保税については、国や県の政策と結びついていきます。市独自で18歳以下の被保険者からの均等割額については還付しています。重要な施策です。しかし国保の負担が大きいことも事実です。また介護保険料も県下で1位2位を争う高い状況です。これらの改善も必要です。

地球温暖化対策

地球温暖化対策も待ったなしです。伊吹山の荒廃が続き土砂災害が起きてしまいました。

今米原市では「脱炭素化」をめざしエコビレッジ構想がすすめられています。問題も抱えており、慎重な対応が求められますが、これらの対策も重要です。

農業問題も重要

農業問題は前号で述べています。気候危機が進行する中で、国民の食料を守ることは、国や地方にとって重要課題です。

